図画工作科事例１　育成を目指す資質・能力を明確にした実践事例

題材名　「ギコギコクリエーター」

第４学年　「Ａ表現」(1)イ，(2)イ，「Ｂ鑑賞」(1)ア，〔共通事項〕(1)アイ

1　題材の目標

のこぎりを安全に使い，切ってできた様々な形の木をつないでできる形などを基に，生活で楽しく使えるものを考え，形や色などの感じを捉えながら，材料の組み合わせ方を工夫して表す。

2　題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・のこぎりでいろいろな形に切った木を組み合わせて，生活の中で使えるものをつくるときの感覚や行為を通して，形の感じ，色の感じ，それらの組み合わせによる感じなどが分かっている。 ・のこぎり，釘，金づち，きり，木材を適切に扱うとともに，水彩絵の具，接着剤などについての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて工夫して表している。	・形の感じ，色の感じ，それらの組み合わせによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，切った木を組み合わせて感じたこと，想像したことから，表したいことを見つけ，用途を考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。 ・形の感じ，色の感じ，それらの組み合わせによる感じなどを基に，自分のイメージをもちながら，実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ，表したいこと，いろいろな表し方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。	・つくりだす喜びを味わい，進んでのこぎりでいろいろな形に切った木を組み合わせて，生活で使えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。

3　題材について

中学年の児童は，表現及び鑑賞の活動において，表し方を工夫することに意欲を示す。手先が器用になってきて，使用する材料や用具の範囲が広がり，多様な試みが見られるようになる。何度も試したり，友人の発想やアイデアに関心をもったり表し方を紹介し合ったりするなど，周りとの関わりも活発になる。身の回りの形や色への関心も高まってきており，自分の持ち物については，大人に与えられるより自分でお気に入りのものや使いやすいものを選んでいる様子が見られる。

「切る」ということに関わった用具の使用については，１年生ではさみ，２年生でカッターと段ボールカッターを使用している。紙や段ボール，ペットボトルなどを切る活動をしてきた。今回はこれまでの素材よりも固い木を，のこぎりを使用して直線的に切っていく。高学年では曲線や繊細な線を切ることができる電動のこぎりを使用する。

本題材は，木の板を切り分けて出来たパーツを組み合わせて，生活に使える壁掛けを製作するものである。まず，自分の生活の中でどこに飾るかどのような使い方をしたいかという思いをもたせていく。切る際には，ペアを組んで安全に気を付けながら切るようにする。パーツが出来上がったら並べ替えながらどのような形が出来そうか何度も試していく。つくっては崩し，また考える姿を期待したい。その時間を十分確保することでどこに飾りたいのか，どのような使い方をしたいのか

もう一度構想して，自分の思いをはっきりともたせていく。
　また，グループ等で交流しながら様々なアイデアが出ることも楽しませたい。様々なアイデアの中から自分で形を選んだという達成感をもたせたい。色や模様を付けるのは主に絵の具を使用する。これまでの経験を生かし，素材や描画材を自由に選んでいけるように，材料や用具はたくさん用意しておく。ボンドで貼り付ける際は量を少なめにして，乾く際に固定されるという特性を生かせるようにする。
　作品が完成した後は，お互いに作品を鑑賞して，活動や作品のよさについて意見を交換したり，家で実際に飾ってみた様子を伝え合ったりする活動を行う。

4　指導と評価の計画（４時間）

時間	学習内容	評価の観点 ○指導に生かす評価　◎記録に残す評価					指導上の留意点
		知識	技能	発想構想	鑑賞	態度	
事前	・のこぎりの使い方を説明し，切る練習をしておく。						
1	1　めあてや学習の流れを確認する。 2　板に直線を引き，７つのパーツに分ける。 		○	○		↓	・どこに飾りたいか，使用方法を考えさせることで，意欲的に制作できるようにする。 ・パーツの数を統一することで切る量を概ね同等にする。
2	3　パーツを並べ替えながら，どのような作品にするか考える。並べながら用途や飾る場所も構想する。 	○		◎			・パーツを並べ替えながら自分の思いを再構成できるようにする。 ・製作の仕方やポイントを掲示することで，全員が安心して取り組めるようにする。
3	4　色を付け，ボンドで貼り付ける。 5　その他の飾りや付け足しをする。ひもを付けて完成させる。	◎	◎				・児童の自由な発想を大事にする。
4	6　振り返りカードや作品票を書き，つくったものについて紹介して見せ合い，互いの面白さやよさを伝え合う。				◎	◎	・造形的な視点で鑑賞できるように声かけをする。

主体的に学習に取り組む態度は，各資質・能力が発揮される場面で，その資質・能力と一体的に見取ることが重要です。

5　本題材の授業改善ポイント

（１）　安全に丈夫につくるためのポイントの提示

製作の見通しがもてない児童もいるので，製作の手順やポイントを視覚的に示すようにした。特にのこぎりの使い方は４年生で初めて行うため，動画や教師の見本を見せることでイメージできるようにした。絵の具で木材に着色する際は，水の量によって色の感じが変わってくることや，木材を貼り合わせる際は，ボンドの量や固定の仕方に注意することなどを示した。ポイントを示すことで，安全に安心して取り組むことが出来き，創意工夫することに児童が集中できるようにした。

（２）　試行錯誤する時間の確保

はじめに，どこに飾りたいか，どのように使いたいかを考えさせた。切り分けたパーツを並べ替えながら，どのような形が出来そうかを試す時間を多く取った。一度決まった並べ方で満足することなく，いろいろなパターンを考えさせることで，新しいものを生み出していくよさを感じ，思考力を高めていくことをねらいとした。また，作品の用途をよりはっきりとイメージさせるために，初めに考えていた自分の思いを変化させたり広げたりする声かけを多くした。絵の具で着色する際は，これまで使ったことのある技法を試しながら取り組めるよう働きかけた。また，絵の具だけでなく，お花紙や綿，綿棒，ストローなどこれまで工作などで使ってきた様々な材料を自由に組み合わせていけるように準備しておいた。

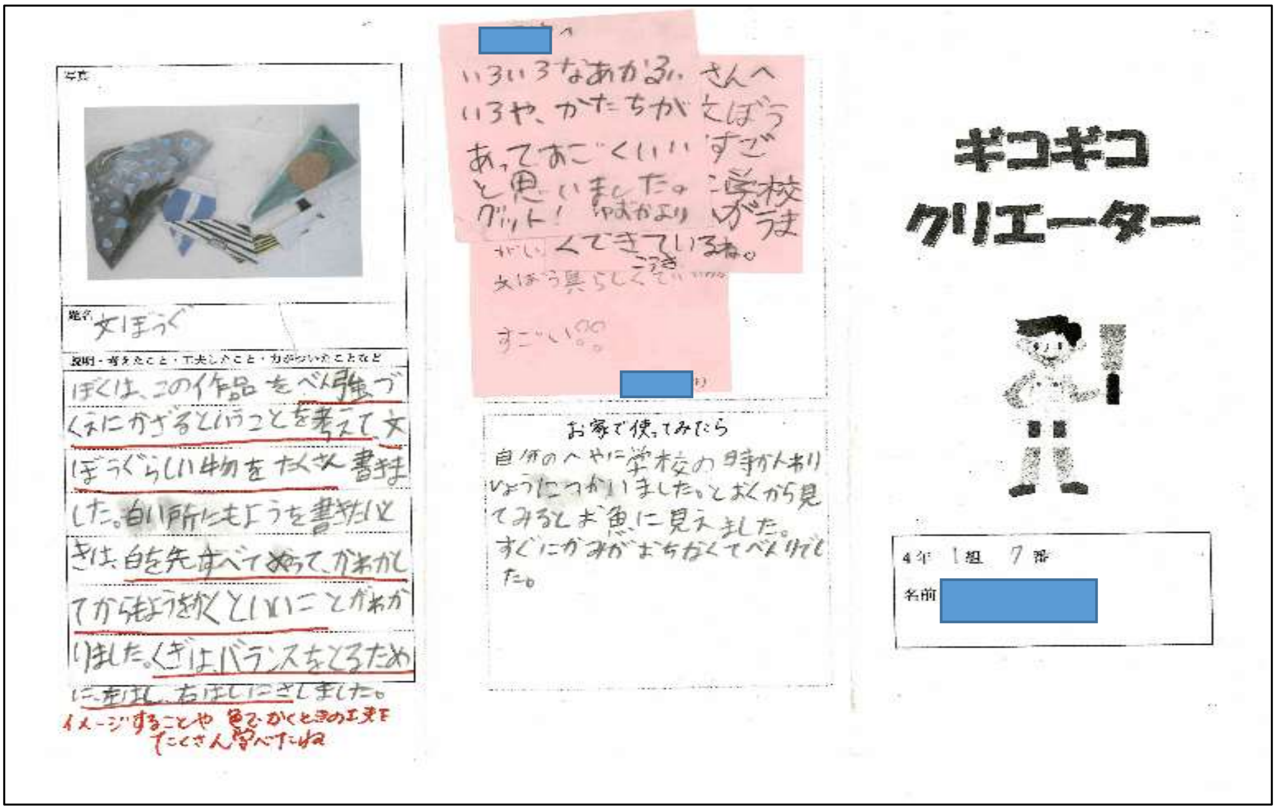
（３）OPP シートの活用

本題材では，OPP シートを活用した。最初の自分の思いから，毎時間大切だと思ったことを記入させ，適宜，友達からのコメントも記入させた。大切だと思ったことを書かせることで，児童がねらいに迫っていたかを確認することができた。ＯＰＰシートの最後には，家で飾った後の感想についてもまとめさせた。

6　授業を終えて

本題材では，児童が作品をどこに飾るのか，どのような使い方をするのかということを常に意識しながら製作できるように工夫をした。OPP シートにその思いや学びの変容を記入できるようにしたことで，教師の見取りの材料にもなり，授業中の声かけにおいても有効だった。OPP シートには児童が大切だと思ったことを記入するようにしたことで，児童がどのような資質・能力を発揮しているのかを捉える材料になった。このシートは鑑賞の際に読み合うようにしたことで，どのような工夫をしているのかを共有することができた。また，飾った後の感想を記入させたことで，生活に使えるものをつくるよさを感じることができた児童が多かった。

7　資料（OPP シート）



写真

題名　文ぼうぐ

説明・考えたこと・工夫したこと・分かったことなど

ぼくは、この作品をべん強づくえにかざるということを考えて文ぼうぐらしい物をたくさん書きました。白い所にもようを書きたいときは、白を先すべてぬってかわかしてからもようをかくといいことがわかりました。くぎはバランスをとるために左はし、右はしにさしました。

イメージすることや色でかくときの工夫をたくさん学べたね

[redacted]へ
いろいろなあかるいいろや、かたちがあってすごくいいと思いました。グッド！やおかより

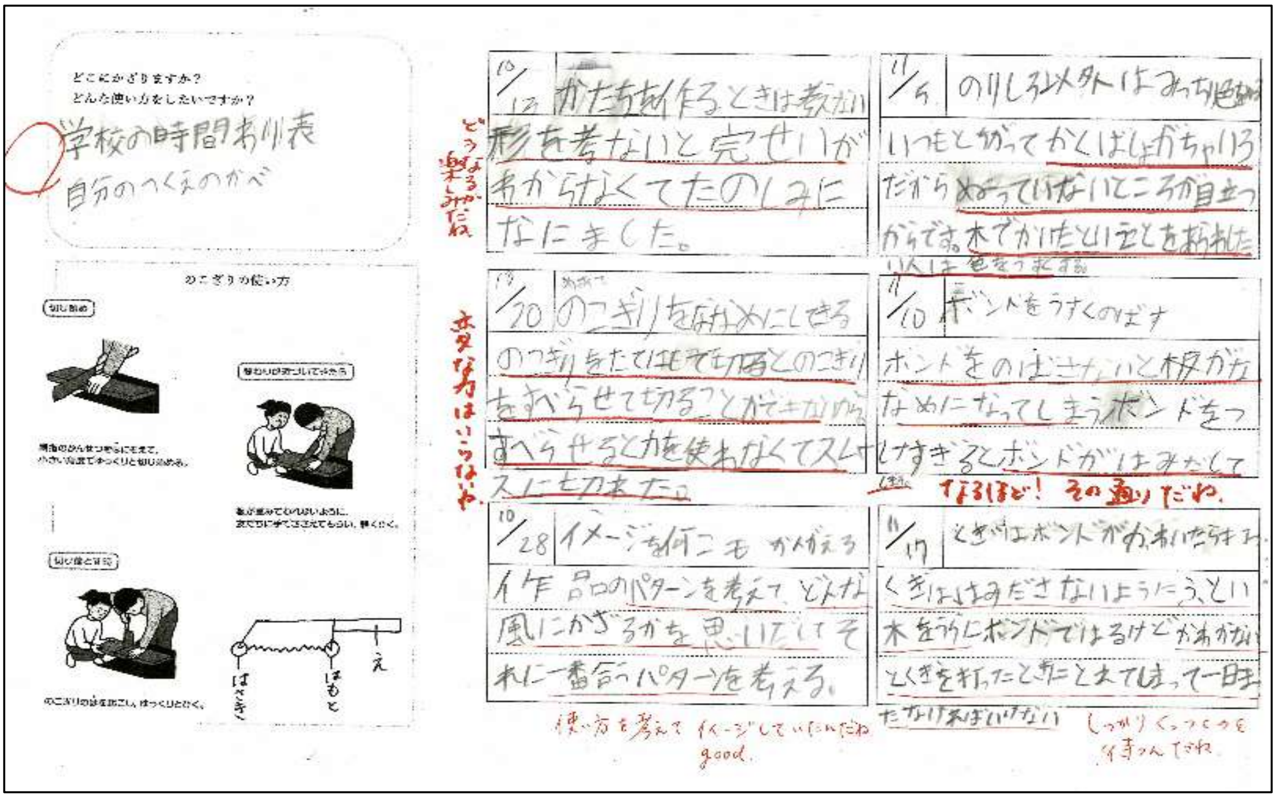
さんへ
文ぼうぐがすごい。学校がうまくできているね。
文ぼう具らしくてごうかいいね。
すごい!!

[redacted]より

お家で使ってみたら
自分のへやに学校の時かんわりひょうにつかいました。とおくから見てみると魚に見えました。すぐにかみがおちなくてべんりでした。

ギコギコ
クリエーター

4年　1組　7番
名前 [redacted]


どこにかざりますか？
どんな使い方をしたいですか？

学校の時間わり表
自分のつくえのかべ

のこぎりの使い方

切り始め
刃のかたい部分に親指をそえて、小さい角度でゆっくりと切りはじめる。

切り終わりが近づいてきたら
板が重みでわれないように、友だちに手でささえてもらい、静かに引く。

切り進め方
のこぎりの刃をおこし、ゆっくりとひく。

10/12　かたちを作るときは考えないと形を考えないと完せいが分からなくてたのしみになりました。

どうなるか楽しみだね

10/20　めあて　のこぎりをななめにしきる
のこぎりをたてはもで切るとのこぎりをすべらせて切ることができないからすべらせると力を使わなくてスムーズに切れました。

大事な考え方はいっぱいだね。

10/28　イメージを何こもかんがえる
作品のパターンを考えて、どんな風にかざるかを思いだしてそれに一番合うパターンを考える。

使い方を考えてイメージしていたんだね　good.

11/5　のりしろ以外はみっちゃく
いつもとちがってかくばしょがちゃいろだからぬっていないところが目立つからです。木でかけたということをわすれたりした人は色をつけする。

11/10　ボンドをうすくのばす
ボンドをのばさないと板がななめになってしまうボンドをつけすぎるとボンドがはみだしてしまう。

なるほど！その通りだね。

11/17　くぎはボンドがかわいたらうつ
くぎははみださないようにうつといい木をうすくボンドではるけどかわかないとくぎを打ったときにとれてしまって一回またなければいけない

しっかりくっつくのを待つんだね。